

『いせ咲く。』実現予算の編成に当たって

本年度の当初予算は『『いせ咲く。』実現予算～アフターコロナの経済再生と新たな日常の創生を目指して！～』として、一般会計に777億7,000万円を計上しました。前年度と比較すると4.3%増となります。

本年度も、新型コロナウイルス感染症対策を講じるとともに、第2次伊勢崎市総合計画後期基本計画の次の5つの基本政策に取り組みます。

5つの基本政策

- ①市民が健康で生き生き暮らせるまちをつくる
- ②市民と産業を支える力強いまちをつくる
- ③市民が安心してやすらかに暮らせるまちをつくる
- ④市民が自ら学び豊かな心を育むまちをつくる
- ⑤市民と協働して自立したまちをつくる

令和4年度の予算が決まりました

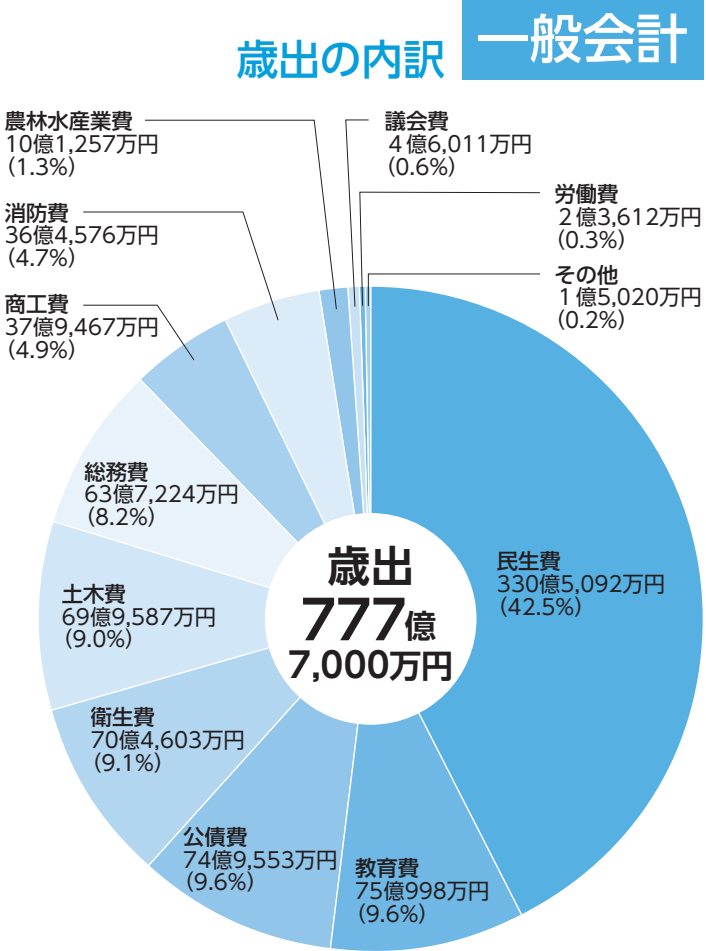
一般会計予算は777億7,000万円 ～前年度比プラス4.3%～

本年度の各会計予算が、第1回市議会定例会で可決されました。本年度の予算の配分と主な事業について紹介します。詳しい資料は市ホームページに掲載しています。

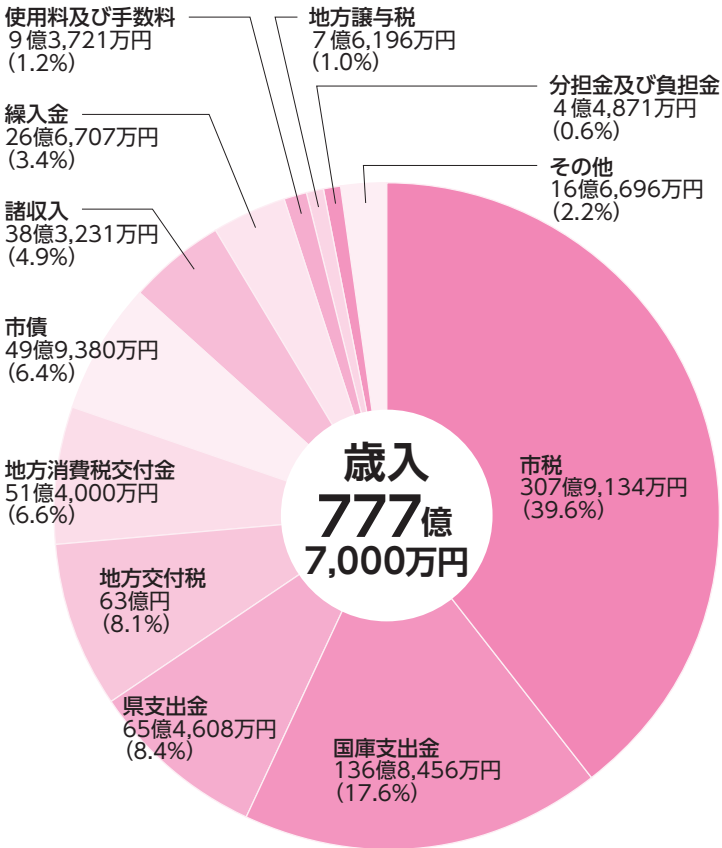
※金額は端数調整し「万円」単位で表記しています
問い合わせ 財政課 (☎27-2712)

用語の解説

- 民生費** 児童、高齢者、体の不自由な人、生活に困っている人を援助するための経費
- 教育費** 学校教育、社会教育などに使われる経費
- 公債費** 道路、学校などを造るために借りたお金を返済するための経費
- 衛生費** 皆さんの健康を守ったり、ごみ・し尿を処理したりするための経費
- 土木費** 道路、公園などを造ったり、区画整理を行ったりするための経費
- 総務費** 税金の徴収、戸籍事務、選挙事務など、市役所の全般的な仕事に使われる経費
- 商工費** 商業、工業、観光などを盛んにするための経費
- 消防費** 消防、救急業務などに使われる経費
- 農林水産業費** 農道や水路の整備など、農業を盛んにするための経費
- 議会費** 市議会議員の報酬や議会関係に使われる経費
- 労働費** 勤労者のために使われる経費
- その他** 災害復旧費・予備費



一般会計 歳入の内訳



用語の解説

- 市税** 市民税や固定資産税など、皆さんが納める税金
- 国庫支出金** 市が特定の事業をするときに、国が負担する補助金や負担金など
- 県支出金** 市が特定の事業をするときに、県が負担する補助金や負担金など
- 地方交付税** 国税(所得税、法人税、消費税など)の一部から、市の財政状況に応じて交付されるお金
- 地方消費税交付金** 消費税として納められた10%のうちの2.2%の中から、一定の基準で交付されるお金
- 市債** 国や銀行などからの借入金
- 諸収入** 預金利子、貸付金の元利収入など
- 繰入金** 特別会計や基金などからの収入金
- 使用料及び手数料** 公共施設の使用料、戸籍や住民票などを交付するときの手数料
- 地方譲与税** 自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税、森林環境譲与税
- 分担金及び負担金** 保育所の保育料など、受益者が経費の一部を負担するお金
- その他** 繰越金、法人事業税交付金、地方特例交付金など

市債残高の状況

市債発行額は、平成26年度をピークに減少傾向となっていました。令和3年度は臨時財政対策債の発行が大きく伸びた影響で一時的に増加しました。令和4年度は臨時財政対策債発行額が大きく減少し、一般会計において約49億9,000万円の発行を予定しています。

各会計とも、計画的な市債の発行により財政の健全化を図り、将来の財政負担抑制に努めます。

会計区分	令和4年度末見込み	令和3年度末見込み	増減額
一般会計	625億800万円	648億931万円	▲23億131万円
特別会計合計	27億2,198万円	30億771万円	▲2億8,573万円
学校給食センター事業費	27億2,198万円	30億771万円	▲2億8,573万円
公営企業会計合計	375億3,560万円	380億2,191万円	▲4億8,631万円
水道事業	122億2,952万円	121億8,101万円	4,851万円
公共下水道事業	179億6,907万円	174億9,411万円	4億7,496万円
農業集落排水事業	18億6,691万円	20億2,751万円	▲1億6,060万円
特定地域生活排水処理事業	2,740万円	2,607万円	133万円
病院事業	54億4,270万円	62億9,321万円	▲8億5,051万円
合計	1,027億6,558万円	1,058億3,893万円	▲30億7,335万円

※「令和3年度末見込み」額は令和4年度当初予算編成時点の残高です

特別会計・公営企業会計

予算額 977億4,197万円 内訳 { 特別会計予算額 652億7,805万円
公営企業会計予算額 324億6,392万円

【特別会計】保険料や使用料など特定の収入で賄います

会計区分	予算額
小型自動車競走事業費	241億7,628万円
学校給食センター事業費	20億7,138万円
国民健康保険	187億4,611万円
後期高齢者医療	26億5,083万円
介護保険	176億3,345万円

【公営企業会計】市が企業として経営し支出は収益で賄います

会計区分	予算額
水道事業	73億6,740万円
公共下水道事業	53億7,267万円
農業集落排水事業	7億809万円
特定地域生活排水処理事業	3,308万円
病院事業	189億8,268万円

※公営企業会計の予算額は、収益的支出および資本的支出の予算額の合計です

③市民が安心してやすらかに暮らせるまちをつくる

安心安全

- ★総合防災マップの改訂……………1,782万円
- ★消防団員が消防ポンプ自動車を運転するための免許取得費の一部を助成……………35万円
- ★境消防署の庁舎の建設……………6億7,167万円

環境

- ★地球温暖化対策市民協議会の設置……………4万円
- ☆空き家の改修費用の一部を補助……………2,000万円
- ★華蔵寺公園共生『はな咲く。』プロジェクトの実施……………1億3,062万円
- ・(仮称)あずま南小学校区近隣公園の整備……………7,424万円



▲再整備を予定している華蔵寺公園水生植物園

④市民が自ら学び豊かな心を育むまちをつくる

教育

- ・外国籍児童生徒などへの教育支援……………4,895万円
- ☆第3子以降学校給食費助成要件の拡充……………6,214万円
- ・四ツ葉学園中等教育学校の運営……………5億5,430万円

生涯学習・スポーツ・文化

- ★文化芸術団体の発表会などの経費の一部を助成……………1,000万円
- ★新たな市史の編さんに着手……………1,319万円
- ・世界文化遺産の田島弥平旧宅とその周辺環境の整備・活用……………6,341万円
- ★小学校体育館照明のLED化……………5,200万円
- ・ICT教育の充実……………5,346万円
- ・スポーツ施設の整備……………2億5,274万円



▲電子黒板などを活用した授業を受ける小学生

⑤市民と協働して自立したまちをつくる

協働・共生

- ★SDGs研修など職員研修の充実……………38万円
- ★外国人集住都市会議への参加……………32万円
- ・外国人総合相談窓口事業を実施……………693万円

行財政

- ★マイナポイント申し込みなどの支援……………2,468万円
- ★総合相談窓口の開設……………13万円
- ★議会活動におけるICT活用……………530万円
- ★ネーミングライツ事業の実施……………9万円
- ・オートレース事業から収益金の一部を一般会計へ繰り出し……………3億円



▲マイナポイント予約・申し込みの支援窓口

令和4年度当初予算 主な事業の概要と予算額

本年度の一般会計当初予算などの主な事業の概要と予算額を、5つの基本政策に沿って紹介します。

- ★=新規の事業
- ☆=拡充する事業



◀市ホームページで
予算の編成方針と概
要を紹介しています

①市民が健康で生き生き暮らせるまちをつくる

健康・医療

- ★がん患者のウィッグなどの購入費の助成……………331万円
- ・新保健センター建設に向けた実施設計……………5,777万円
- ・新型コロナウイルスワクチンの接種……………6億1,433万円
- ・市民病院の血管造影装置の更新など……………5億3,252万円

福祉

- ・民間保育施設の整備に対する補助……………3億2,322万円
- ・第四保育所の耐震補強工事……………3,500万円
- ★保育士などの産休代替職員の設置に対する経費の一部を助成……………666万円
- ☆高齢者タクシー利用料金助成要件の拡充……………3,024万円
- ・障害者センターの運営……………7,795万円



▲新型コロナウイルスワクチン

②市民と産業を支える力強いまちをつくる

都市基盤

- ・伊勢崎駅周辺の整備と賑わいの創出……………9億4,182万円
- ・コミュニティバス運行経費を補助など……………1億9,000万円
- ・幹線道路などの整備……………9億2,207万円
- ・合併処理浄化槽への転換設置費用の一部を補助など……………1億3,898万円
- ☆上下水道の整備……………41億1,067万円

産業・観光

- ★農業キッズプログラムの実施……………42万円
- ★小規模事業者への経営支援など……………4,520万円
- ★まちなかの魅力向上と創業支援……………100万円
- ★コロナ対策認定店支援チケットを発行……………11億3,201万円
- ・住宅リフォーム費用の一部を助成……………8,000万円
- ・企業誘致の推進……………6億7,743万円



▲コロナ対策認定店の例